

# 会議報告書

令和2年1月9日(木) 10時00分～10時20分

記録者名 小笠原



市長	副市長	部長	次長	総務次長	課長	補佐	係長	課員

出席者 政治倫理審査会公募委員選考委員会委員  
 (南政策推進部長・斉藤総務部次長・大野政策推進部次長・倉持政策推進部次長)  
 政治倫理審査会事務局 (佐藤副参事(相談室長)・小笠原・桜井主幹)

場所 取手市役所 政策会議室

件名 第2回 政治倫理審査会公募委員選考委員会

## 【協議内容】

(事務局より採点結果について説明)

○採点の結果について説明

資料1-①、資料1-②の「令和元年度取手市政治倫理審査会公募委員審査結果」にて、選考委員による候補者7名の採点結果を報告した。

採点の結果、得点の高い3名は次の通り。

- ・ 88点
- ・ 82点
- ・ 80点

○選考結果の市長への報告について

取手市長宛てに選考委員会委員長名にて文書(資料2)による報告を行う旨説明した。

(意見)

第1回の選考委員会の時に、意見の出た、「取手市政治倫理審査会公募委員選考委員会設置要綱」第6条の(3)幅広い年齢層及び地域から選任するよう努めること。という部分について、どのように取り扱うかについては、採点基準に基づき採点した結果、点数が同じだった場合、どちらを選ぶかと言う時には、地域性などを考慮する必要があるのかもしれないが、最も優先されるのは、作文の内容から採点した結果であるという意見で一致した。

また、幅広い年齢層から選任する。という点についても、今回の応募者は60歳代

から70歳代で大きな開きはない。年齢についても、同点の場合には考慮する必要があるのかもしれないが、作文の内容の採点結果が優先されるべきであるという意見で一致した。

○結論

今回の結果について、取手市長宛に資料2の「取手市政治倫理審査会公募委員の選考結果について（報告）」にて報告を行う旨説明した。

選考委員会委員4名は上記内容を了承し、委員長名にて市長宛て文書にて報告を行うこととした。